

タイトル: ケニアの宮脇森林

組織: Miti Alliance www.miti.co.ke
資金提供パートナー: Sugi Project www.sugiproject.com
実施パートナー: CERKケニア、セントポール大学、アフリコン・リジェネラティブ・ソリューションズ
森林メーカー: マイケル・ワイヴァキ michael@miti.co.ke
提出先: 宮脇森林シンポジウム



導入:

2021年の報告書によると、ケニアの森林被覆率は依然として推奨される10%を下回っており、47の郡全体で気候変動の影響に直面しているため、大きな課題となっています。

<https://www.miti.co.ke/2021-report>

宮脇森林は、日本の植物学者宮脇昭博士が開発した画期的な植林方法です。シュベンドウ・シャルマのTEDトークに刺激を受けたケニアのミティ・アライアンス創設者マイケル・ワイヴァキは、ケニア全土でセントポール大学、ウッドランド・スター国際学校、ナロモル・ミティ・アライアンス樹木博物館の3か所に宮脇森林を造成することに成功しました。現在、4番目の森はケニアのティマウ・ライキピア郡で進行中です。

これらのプロジェクトは、宮脇方式の効率性と環境的利点を示し、ケニアの持続可能な環境保全に不可欠なコミュニティ主導の取り組みを強調しています。ミティアライアンスは、環境教育に取り組んでいる学校の子供たち、大学生、コミュニティに焦点を当てています。

宮脇の森。

宮脇メソッド:

- ケニア山森林やブラッケンハースト森林など、植林地付近の地元の森林を訪問し、地元の樹木に関する在来文献を調査することで、植林地の在来樹木について理解することができました。
- さらに、地元の図書館や地元の医者などが、その用途を理解するのを手伝ってくれた。
- 私たちは森で何をやる必要があるかのチェックリストに頼りました。
- 植える場所、植える時期、地域社会、学校など
- この方法の理由とその重要性を理解する
- 地域の生物多様性を理解する

手順:

ケニアには雨季の短縮があり、植樹活動は雨季の直前に計画されました。以下の手順で準備します。

- 樹種の識別
- 地元の苗木園訪問
- 樹種リストの作成
- 敷地の選定、敷地の準備、敷地への資材の搬入
- 堆肥茶の準備
- 樹種の分類 - 樹冠、樹層、低木
- ボランティアまたは植樹者のチーム
- 植え付け、マルチング、水やり、アフターケア
- 3年間の追跡調査 (生物多様性の測定)

結果:

ナロモルの森2021:

200平方メートル: 600本の木: 在来種44種

ナロモル森林の急速な発展は、土壌の安定化、保水、炭素隔離、生物多様性の増加、鳥類の生息など、地元の生態系に貢献してきました。国際的な雑誌で取り上げられたこの森林は、600人以上の訪問者を魅了し、森林について学びに訪れています。3年間で生物多様性が増加 - 9種の新しい鳥類、2種のヘビ、ネズミ、虫、ワサギ、カエル、

蝶、トカゲ、昆虫。

生存率: 95% 最も高い木 15 フィート

ウッドランドスターフォレスト2023:

400平方メートル、1200本の木、56種の在来種

2つ目の宮脇森林は、リムルのウッドランドスターインターナショナルスクールにあり、2023年初頭に着工されました。このプロジェクトでは、土壌の準備から植栽、維持管理まで、すべての段階に参加する学生の関与を重視しました。この実践的なアプローチにより、環境管理が促進され、在来植物や生態系に対する理解が深まりました。

生存率: 90%、最も高い木は12フィート

ビデオ 1: <https://youtu.be/OpcBkSHoVus>

ビデオ 2: <https://youtu.be/xhUKZn3lff8>

セントポール大学フォレスト2023:

300平方メートル、900本の木、45種の在来種

3番目のプロジェクトであるセントポール大学の宮脇森林は、ケニアの都市緑化における重要なマイルストーンを表しています。このプロジェクトには、大学の学生、教員、ミティのボランティアが参加しました。1年以内に、この森林は自然の森林に成長し、さまざまな鳥、昆虫、小型哺乳類の生息地となっています。このプロジェクトは、教育ツールとして機能し、

生態系の回復の重要性と保全。

生存率: 87%、最も高い木は6フィート

リンク:

<https://www.instagram.com/mitialliance/reel/CxICTIPomWS/>

Naromoru Miyawaki Video:



結論:

宮脇方式は、ケニアの在来薬用種の回復活動を支援し、生物多様性の保護を促進することができます。世界中で新しい森林管理者を育成することで、植林・定着する宮脇森林の数を増やすことができます。この方式の採用を妨げる課題の1つは掘削コストであり、大規模な宮脇プロジェクトには新しい革新的な方法を開発する必要があります。

参考文献:

- ケニアの有用な樹木と低木 <https://apps.worldagroforestry.org/downloads/Publications/PDFS/B13601.pdf>
- ムルギ・ガチャディ、キクユ先住民の植物辞典:
- ナジマ: ダラニ、有用な樹木と低木
- ナジマ・ダラニ『東アフリカの薬用植物図解ガイド』

謝辞:

世界中に広まった革新的な修復手法を開発した宮脇昭氏。コロナ禍でのTEDトークでこの手法についてもっと学び、実践しようと思ったきっかけくれたシュベンドウ・シャルマ氏。チームの学習と教育を可能にしてくれた指導と教育ビデオ。共有と指導への意欲に感謝します。私たちを信じ、ケニアで最初の3つの森林を支援してくれたSugi Projectには、資金と技術サポートを提供してくれたことに感謝します。